令和５年度　事務事業評価シート

事務事業名	会計事務事業		事務事業コード	体系外	整理番号	288
（予算事業名）						
担当課名	会計室	担当係名	山本　太一	作成日	令和5年7月11日	

Ⅰ．事務事業の概要

1	総合計画上の位置づけ	まちづくりの柱	体系外
		基本方針	
		施策	
		取組項目	
	ＳＤＧｓ上の位置づけ	ゴール	（１６）平和と公正をすべての人に
		ターゲット	16.6
2	事務事業の対象	☑ 不特定の市民　☐ 特定の市民　☑ 不特定の企業・団体　☐ 特定の企業・団体　☑ その他 具体的に（ 松原市と債権債務関係を有するあらゆる個人及び法人ならびに松原市自体 ）	
3	事務事業の意図（ねらい）	会計管理者の権限において行う会計事務について、支出伝票等の返戻率を基に評価し、室内で再発防止策を熟考し、担当課へフィードバックすることで効率的かつ確実な事務執行を行う。	活動指標　指標名（単位）：支出命令票件数（件） 算出法：財務会計システムにて抽出
4	事務事業の内容	年間を通じて継続的かつ恒常的な事務であるが、不適切な事務手順や事務内容の誤謬が絶えない。この毎週の支出命令票等の返戻率の減少を目指す。	成果指標　指標名（単位）：返戻率（%） 算出法：毎週実施する口座払の不備返戻の年間平均返戻率
5	これまでの改革・改善の取組経緯	返戻事務を課毎にまとめた確認票とともに返戻した支出命令票を所属長に確認してもらうことにより緊張感を持たせ、返戻率の減少を図る。	

Ⅱ．事務事業の業績（指標と投入資源の推移）

指標・投入資源				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（目標・予算）	対前年比 R04/R03
1 事務事業指標	有効性	活動指標		35,445	33,400	35,204	35,000	105.4%
		成果指標		8	7	6	6	85.7%
	効率性	コスト指標	コスト計/活動指標（円）	0	1,111	1,044	1,053	94.0%
2 投入資源	①投入人員（人）	正職員			6.00	6.00	6.00	100.0%
		再任用職員			0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員			0.00	0.00	0.00	
	②支出内訳（千円）	人件費		0	37,110	36,756	36,840	99.0%
		事業費						
	③コスト計（=人件費＋事業費）（千円）			0	37,110	36,756	36,840	99.0%
	④事業費財源内訳（千円）	特定財源	国・府補助金					
			地方債					
			受益者負担等					
		一般財源		0	37,110	36,756	36,840	99.0%
	⑤その他考慮すべきコスト	将来発生するコスト（施設・設備・金利等）		特になし				

Ⅲ．事務事業の評価と改革・改善策

評価の視点	評　価	評価の判断理由の説明
1 必要性の評価 チェックシートへ移動	◉ 1 事業を行う義務がある ○ 2 事業の必要性が高い ○ 3 事業の必要性が低い	行政運営（組織の経営・機能維持）に欠かせない事業
2 有効性（顧客の視点）の評価	○ 1 非常に有効 ◉ 2 効果があった ○ 3 あまり効果がなかった	財務会計システムの使用、適宜実施している他課等への指摘事項、その他事務改善により適切に処理されている。
3 効率性（コストの視点）の評価	○ 1 向　上 ◉ 2 横ばい ○ 3 低　下	行政機関における基幹的な事務事業であり、その事業自体が円熟しているため細やかな事務の見直しによる効率化は図れているものの、劇的な向上、低下は見込み難い。
4 今後の方向性（総合評価）	◉ A　計画どおりに事業を進めることが適当 ○ C　事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	○ B　事業の進め方の改善の検討 ○ D　事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
5 評価結果に対する所見（事業の総括と課題に対する改革・改善策）	会計室をはじめとして各課等の事務処理の負担軽減及び適正な事務の実施につき、引き続き検証を行う。	